

備前市事務事業評価表

事務事業名	献血推進事業	コード	02-02-06-04
		担当課・係	保健福祉部保健課
		担当者	丸上 始企子
		電話	64-1820
事業実施期間	昭和43年以前～		
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	健康でやさしさあふれるまちづくり	
	中項目(基本施策)	健やかで生き生きとしたまちづくり	
	小項目(施策)	健康づくり	

事業について	
目的 (何のために)	血液を必要とする市民のために、善意（ボランティア）意識の向上を図り、血液の安定供給を確保する。
対象 (誰・何を対象に)	健康な16歳～69歳の市民（但し60歳以上は60歳～64歳までの間に1回でも献血をした事がある人）
内容	献血について住民の理解を深めるとともに、赤十字血液センターの献血事業が円滑に実施されるよう支援する

事業の結果			
実施項目	17年度	18年度	
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
200ml献血(場所別)	280 人	212 人	
400ml献血(場所別)	1,245 人	1,208 人	
献血者数(場所別計)	1,525 人	1,420 人	
献血者数(住所別計)	1,887 人	1,851 人	
献血車台数	24 台	21 台	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	0	国庫補助金等	0	直接事業費	0	国庫補助金等	0	直接事業費	0	国庫補助金等	0
	人件費	2,323	受益者負担		人件費	2,200	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	2,323	市債	2,323	合計	2,200	一般財源等	2,200	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.38 人	0.55 人	
結果指標	結果指標名		結果指標名
	献血者数(場所別)		献血者数(場所別)
	1,525	1,420	
	単位	人	人
	対前年比	—	93.11%
	活動にかかるコスト	2,323,000 円	2,200,000 円
	単位当たりコスト	1,523 円	1,549 円
結果指標	結果指標名		結果指標名
	献血者数(住所別)		献血者数(住所別)
	1,887	1,851	
	単位	人	人
	対前年比	—	98.09%
	活動にかかるコスト	2,323,000 円	2,200,000 円
	単位当たりコスト	1,231 円	1,189 円

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	市民が献血の必要性を認識し、お互いの生命を大切なものであると理解する		
成果指標名	献血率	式又は説明	(献血者数(住所別) / 献血可能人口) × 100
	17年度	18年度	
成果指標量	8.80%	8.70%	
対前年比	—	98.86%	0.00%
到達目標値	9.00%	到達目標年度	平成20年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等：安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input checked="" type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の状況		説明 市内の事業所を中心に、市民ボランティアの協力も得て例年どおりの配車計画をしている。また、献血意識の向上のための事業(献血キャラバン隊の受入等)も積極的に実施している。		
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している			
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している			
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了			
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している				
目標値	結果指標量	1,450	結果指標量	1,890
	成果指標量		成果指標量	8.90%

総合評価	地域に広い人脈を持つ、備前ロータリークラブ、備前ライオンズクラブ等の団体の積極的な協力が得られ、日本赤十字社の示す「1台あたり70人」の指標達成目標に到達している。	評価区分 <A~E> <b>B</b>
------	--	---------------------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
--------------	---	--

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	平成18年度の実績をふまえ、献血実施場所、献血車の配車数を適切に計画する	3月	献血者の確保、献血車1台当たりの献血数の増加